



前商同窓会報

令和5(2023)年3月1日 創刊号

発行責任者/糸井 義一

編集責任者/富田 等

題字/糸井義一同窓会長

ごあいさつ



同窓会長

糸井 義一

(昭和44年度卒)

前商同窓会報の創刊にあたり

同窓会の会員の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。私は平成27年7月に第九代同窓会長として就任させていただきました糸井でございます。

母校創立100周年(2020年4月)記念事業の遂行にあたり実行委員長として同窓生はじめ、前商をご支援いただいた多くの関係者の皆様から多額のご寄付を賜り、お陰様で同窓会としての責任を果たすことができました。心から感謝と御礼を申し上げます。

さて、同窓会活動につきましては創立100周年を機に、役員有志による編集会議を重ねこの度「前商同窓会報」創刊号を発行する運びとなりました。

同窓会報の発刊にあたり過去の資料を紐解いてみると、その履歴として残されているのは、大正13年(1924年)3月第一回卒業式が挙行され、30人の卒業生により前商同窓会が発足し会則を

制定。昭和10年(1935年)3月前商同窓会報創刊号発行。その後の昭和38年(1963年)から昭和50年(1975年)第14号まで発行されております。

大正13年(1924年)前商同窓会が発足し、来年(2024年)3月には100周年を迎えます。今後、会報において同窓会活動や母校後輩の活躍ぶり等を紹介して参りますので皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。

前商同窓会は本部のほか首都圏支部、利根沼田支部と渋川支部で編成され、同窓会旗(本部旗及び3支部旗)も新たに作成し寄贈させていただきました。今年は特別なことが生じない限り夏の定例総会及び懇親会、秋のゴルフ大会は実施予定です。

結びに、同窓生の皆様をはじめ、母校のますますのご隆盛を祈念し、同窓会報創刊号に寄せる挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ



学校長

中村 清志

同窓会の皆様には、日頃より母校である群馬県立前橋商業高等学校の教育活動に対し、ご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。また、この度、前橋商業高校同窓会報が創刊されましたことを心よりお祝い申し上げます。

この機会に、近況を報告させていただきます。本校は、令和2年度にそれまでのビジネス情報科、システム情報科から、商業科(各学年7学級)となりました。1年次に商業の基礎を学び、2年次に情報・会計・商業の3つのコースに分かれ、各分野の高度な知識・技術を学んでおり、生徒たちは、先輩方に積み上げていただいた歴史と伝統を継承するとともに、予測困難なこれからの社会で活躍できる人材となるべく日々努力を重ねております。

次に、部活動ですが、令和4年度県高校総体では、男子バレーボール部、水球部の優勝を筆頭に多くの部が入賞し関東大会に出場しました。インターハイ予選でも、男子バレーボール部が優

勝、弓道部女子も初優勝し、水球部とともに全国大会に出場、個人種目でも、柔道男子、ソフトテニス男子、陸上競技男子が全国に駒を進め、四国の地で躍動してくれました。文化部も、情報処理部、ワープロ部、簿記部、珠算部が県競技大会で優勝して総合13連覇を達成し全国大会に出場することができました。また、吹奏楽部も、西関東大会に出場し金賞を受賞しました。今後とも後輩たちの活躍にご注目いただければ幸いです。

学校を取り巻く環境が急激に変化するなか、生徒たちが文武両道を目指し活動できるのは同窓会の皆様のご支援のおかげであります。学校といたしましては、「至誠一貫」の校訓のもと、「燃えよ前商生 目指せ日本一」をモットーとして、生徒・職員一丸となって取り組んでまいりますので、今後とも本校の教育活動に対するご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



糸井同窓会長祝辞

記念式典報告

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として多くの行事が中止・延期となり、「創立100周年記念式典」につきましても、大変残念ながら延期させていただきました。本来であれば、創立100周年記念式典及び記念講演は、令和2年10月30日に開催され、記念講演では本校卒業生（昭和35年度卒）の令和元年度に人間国宝に認定された神田 松鯉氏にご講演いただけることになっておりました。

延期を決定した当初は、1年後に開催することを検討しましたが、2学期に延期されていた3学年の修学旅行と2学年の修学旅行、文化祭やインターンシップが予定されていたため、令和3年度4月28日に令和3年度の開校記念式典と併せて「創立100周年記念式典」を開催させていただきました。開催にあたっては、招待者を限定し、在校生の2・3年生は式典に参列し、1年生は式典をライブ配信により参加しました。

式典では、同窓会長式辞の中で、糸井同窓会長様より「商業の基本は、信頼と信用が大切」というお言葉をいただきました。本校教職員・生徒は、創立100周年の伝統校である前橋商業高校で学べることに誇りを持って、創立100周年記念事業でさらに充実していただいた教育環境（第2グラウンド施設やICT施設）を利用できることに感謝し、至誠一貫の校訓のもと「文武両道」に励み、本校の「信頼と信用」をさらに高めながら日本一を目指していきたいと思っております。同窓会の皆様や関係各位の皆様にご支援をいただき、深く感謝申し上げます。（記 教頭：佐藤治彦）

<記念式典次第>

開式の辞
開校記念日の歌斉唱
校長式辞
同窓会長祝辞
創立100周年記念事業報告

感謝状贈呈
記念品目録贈呈
生徒代表謝辞
校歌斉唱
閉式の辞

記念事業報告

平成30年度に創立100周年記念事業実行委員会が発足され、その後、実行委員会を幾度も重ね、以下の記念事業が決定し、完了いたしました。

【記念事業】

- ① 第2グラウンド雨天練習場および夜間照明の新設
- ② ICTスタジオの設置およびICT環境の整備
- ③ 記念品（モバイルバッテリー、エコバッグ）の作成

なお、記念品には、本校の卒業生で漫画家として活躍されています、あだち充先生から100周年を記念して頂いたイラストを使わせていただきました。また、「ICTスタジオ 函南の翼」は、本校卒業生である故井田毅（昭和20年度卒）様（サンヨー食品創業者）から多額のご寄付をいただき、校舎3階旧3年8組の教室に設置されました。



令和4年度 同窓会総会報告

令和4年度群馬県立前橋商業高等学校同窓会総会

次 第

日時：令和4年7月2日(土) 13時30分～

場所：前橋商業高校 会議室

- 1 校歌斉唱
- 2 会長挨拶 糸井 義一
- 3 校長挨拶 中村 清志
- 4 議 事
 - 第1号議案 令和3年度 同窓会事業報告
 - 第2号議案 令和3年度 同窓会会計決算報告
監査報告 安中 哲史 (監事)・小屋 知弘 (監事)
 - 第3号議案 令和4年度 同窓会事業計画
 - 第4号議案 令和4年度 同窓会会計予算
- 5 その他



総会

令和3年度同窓会事業報告 (第1号議案)

- 令和3年4月8日(木) 入学式
- 4月28日(木) 創立100周年記念式典および開校記念式典
(前商体育館)
- 7月3日(土) 同窓会総会 (前商会議室)
- 令和4年1月13日(木) 第2回同窓会本部役員会 (前商会議室)
- 2月28日(月) 褒賞授与式・同窓会入会式
- 3月1日(火) 卒業式



創立100周年記念式典

令和4年度 同窓会事業計画 (第3号議案)

- 令和4年4月8日(金) 入学式
- 4月28日(木) 開校記念式典 (前商体育館)
記念講演会
東京オリンピック男子水球日本代表
志賀 光明 (平成21年度卒) 選手
- 6月9日(木) 第1回同窓会本部役員会 (前商会議室)
- 6月18日(土) 利根沼田支部総会 (焼肉酒楽 Jyu Jyu)
- 7月2日(土) 同窓会総会 (前商会議室)
- 10月22日(土) 首都圏支部総会 (東京・アルカディア市ヶ谷)
- 令和5年1月12日(木) 第2回同窓会本部役員会 (前商会議室)
- 1月31日(火) 生徒研究発表会 (前商体育館)
- 2月28日(火) 褒賞授与式 (前商体育館)
同窓会入会式
- 3月1日(水) 卒業式 (前商体育館)



記念講演会

コロナ禍で中止となった事業について

- 令和2年度 同窓会総会および懇親会
- 令和3年度 第1回同窓会本部役員会、首都圏支部総会、
利根沼田支部総会、渋川支部総会、ゴルフコンペ
- 令和4年度 渋川支部総会、ゴルフコンペ

同窓会 懇親会開催報告



学年幹事：昭和54年度卒

令和元年開催の懇親会

同窓会の懇親会は令和元年の開催を最後に、コロナ禍により開催が延期されてきました。

コロナ前に開催された懇親会は、4年前の令和元年になります。当時の学年幹事よりエピソード等を伺いました。

<学年幹事の準備～40年ぶりの懇親～>

令和元年開催の同窓会の学年幹事は、第56回生（昭和54年度卒）でした。各クラスの代表が集まり、平成30年5月に第1回の幹事会から延べ13回の会議を開催。会議後に必ず行う二次会の楽しみが誘ったのか、最後には50名を超える仲間が集うようになり、40年ぶりの懇親を深める良い機会となりました。

<当日のドタバタ>

チケット販売に苦労したものの、何とか総会および懇親会の当日を迎え、幹事全員がホッとしたのもつかの間、新たな問題が。懇親会の前に行われていた総会の時間が大きくズレ込み、懇親会の段取り変更を余儀なくされたのです。幹事会で十分打ち合わせ済みの計画が変更となり、幹事達のやる気モードもダウンしてしまう状況を皆で盛り返しました。

もうひとつエピソードを紹介します。前年度の先輩幹事は懇親会をビフスタイルで行いましたので、私たちの学年でも同様のスタイルを予定していましたが、開催数ヶ月前の幹事会で、様々

な意見が出て、最終的に従来のスタイルにて行いました。

舞台裏でこんな出来事がありましたが、ご来場の皆様には十分楽しんで頂けたことと学年幹事一同喜んでいきます。



<来年度学年幹事へのメッセージ>

県内で「石を投げれば前商OBにあたる」と言われるくらい、前商の先輩や後輩の皆様の活躍が拝見でき、まとまりのある同窓会だと思えます。学年幹事として集うことができ、私たちが良い思い出となりました。

次年度の学年幹事の皆様、数十年ぶりに会う仲間達と一緒に過ごせる時間を大切に、宝物にしてください。



(記 編集委員：富田等)

今年度の同窓会総会・懇親会およびゴルフコンペについて

令和5年7月1日(土) 16時30分～ 同窓会総会 (マック・スクエア スワン)

17時30分～ 懇親会

※チケット代5,000円 ぜひ、ご参加ください

令和5年10月29日(日) 同総会ゴルフコンペ (赤城国際カントリー)

学校状況報告「燃えよ前商生、目指せ日本一 本気！元気！前商」

主な進路先（令和3年度卒）

四年制大学 57大学（137名）【国公立大 10名含む】

群馬大、県立女子大、高崎経済大、群馬パース大、富山大、長野大、長岡造形大、明治大、立教大、中央大、法政大、学習院大、立命館大、武蔵大、明治学院大、國學院大、日本大、東洋大、駒澤大、専修大、東京経済大、獨協大、日本体育大等
専門学校 31校（50名）

高崎総合医療センター附属高崎看護、前橋東看護、伊勢崎敬愛看護、前橋医療福祉、群馬調理師、群馬県美容、中央情報大学校、群馬法科ビジネス、東日本デザイン&コンピュータ等

就職 52社（77名）【公務員 9名含む】

関電工、キャノン電子、SUBARU、太陽誘電、高崎森永、デンカ、日立Astemo、プラス前橋工場、ミツバ、三益半導体工業、東京電力パワーグリッド、東日本旅客鉄道、日本貨物鉄道、岩瀬産業、群馬県卸酒販、アイオー信金、しののめ信用金庫、北群馬信用金庫、日本郵便、国家公務員Ⅲ種、自衛官、群馬県警察、前橋市役所等

主な検定取得状況（令和3年度）

全国商業高等学校協会検定3種目以上1級取得数 172名

全国商業高等学校協会検定9種目（全種目）1級取得数 1名

経済産業省基本情報技術者試験 8名

ITパスポート 30名

日本商工会議所簿記検定2級 27名

運動部の活躍状況について

群馬県高等学校総合体育大会総合成績（令和4年度）

男子総合 2位 / 女子総合 14位

優勝 男子バレーボール部（関東大会ベスト8）

水球部（男子）（関東大会3位）

2位 柔道部（男子団体）、弓道部（女子団体）（関東大会ベスト8）

ソフトボール部（男子）（関東大会ベスト8）、陸上競技部（男子個人 400mH）

全国高等学校総合体育大会（インターハイ）出場（令和4年度）

団体 水球部、弓道部（女子）、男子バレーボール部

個人 柔道部、陸上競技部（400mH）、ソフトテニス部（ダブルス）

車椅子テニス（個人）2022. 5/2～5/8

Paribas World Team Cup ポルトガル大会

車いすテニス世界国別選手権）ジュニアクラス 5位



男子バレーボール部



水球部

文化部の活躍状況について

群馬県高等学校商業競技大会（令和4年度）

総合優勝（13年連続17回目）

優勝 簿記部（団体の部・個人の部）

珠算部 珠算の部・電卓の部ともに（団体の部・個人の部）

ワープロ部（団体の部・個人の部）

情報処理部（団体の部・個人の部）



弓道部

OB・OGの活躍



本宮万記弘

(昭和61年度卒)

「至誠一貫」

私は水球女子日本代表監督として、2021年に行われた東京オリンピックに出場し、女子代表としては初代オリンピック監督と大変名誉な職を務めることができました。

オリンピックに出場することは、小学5年で水球を始めた当初から私の熱烈な夢でした。

そのために自ら厳しい環境に身を置くため、前商に入学、日体大に進学し、その後、当時世界ナンバーワンであったスペイントップリーグにも在籍、血の滲むような努力を重ね、現役選手として申し分ない実績を積んで来ましたが、選手としてはオリンピックに出場できませんでした。しかし、次は指導者として、教え子が自分

をオリンピックに連れて行って欲しいと信じ群馬で指導を始めました。その結果、二人のオリンピック選手を前商から選出でき、その実績が認められ女子代表監督にもなれました。形こそ変えましたが夢を叶えられたのは前商で学んだ「至誠一貫」の魂があったからと確信を持て言えます。

みなさんも自分の人生に照らし合わせ「至誠一貫」を見直してみてください。

成功をお祈りしています。



柳瀬 彰良

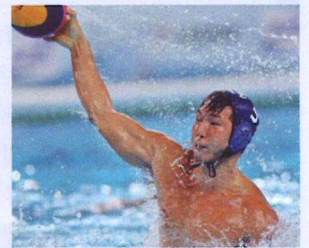
(平成18年度卒)

「前商魂」

私は、リオデジャネイロ五輪において水球男子日本代表として32年ぶりの五輪出場を果たし、夢を叶えることができました。夢を叶えるまでの道のりは非常に険しいものでした。中でもロンドン五輪アジア予選前に受傷した右肩腱板断裂による手術と、復帰までのリハビリは想像以上に苦しく何度も諦めそうになりました。そんな時、高校時代に培った何事にも諦めず、最後まで食らい付く「前商魂」が私を奮い立たせてくれ、夢に向かって努力できる限り努力しようと思わせてくれました。そして最後まで諦めずに夢に向かって努力できたことで五輪の舞台上で試合をすることができました。

目標達成に向けて努力を継続する時間はどれくらいかかるかわかりません。ただ、目標達成している人は必ず努力をしています。水球を通して目標達成するためには努力を継続する必要があるということ学びました。

前商時代や水球を通して学んだことを今度は教師として伝える立場になっています。常に「前商魂」を忘れずに今後も努力し続けたいです。



志賀 光明

(平成21年度卒)

「燃えよ前商生、目指せ日本一」

この言葉に僕は何度も助けられました。

2020年3月東京オリンピック延期が決まった日、水球をやめようかと考えていました。

何日も考え辞める報告をしようと前商に帰った時に、見たこの言葉。

オリンピックに出ることが目標ではなく、オリンピックでメダルを取ること、世界1位になることが目標だったことに気づかされました。

僕は、水球を辞めます。という言葉はいつもりで母校に向いましたが、出てきた言葉は「東京オリンピックまでやります。」という決意でした。

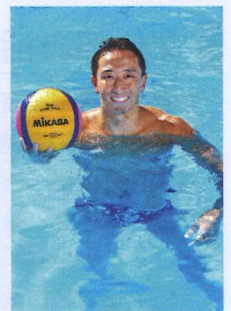
無観客でありながら開催された東京オリ

ピックは、予選敗退という結果でしたが僕自身は、予選リーグのベスト7とアシストランキング1位を取ることができました。

やっと世界1位を取ることができ、あの時諦めないで良かったと思えました。

夢や目標を諦めないで欲しい。

いつだって挑戦する素晴らしさを「前商」は教えてくれている。



支部活動報告

首都圏支部

支部長 宮崎 彰
(昭和48年度卒)



私たち首都圏支部は、毎年100人規模の支部総会および同窓生の集いを毎年6月に開催してきておりますが、2020年発生の新型コロナウイルス感染症の影響で3年間開催することができませんでした。しかし、このような中だからこそ是非とも顔を合わせ・語り合おうという機運が起こり、2022年10月22日(土曜日)アルカディア市ヶ谷(私学会館)において臨時の役員による総

会および集いを開催いたしました。

この日は、糸井義一同窓会長、中村清志校長等の参加を頂き、全参加者22名で明るく、賑やかな開催となりました。総会・集いでは、挨拶・議事の他、参加者全員発言があり、全員がこれまでの募る思いの明るい発表が行われました。中でも、「28会」(昭和28年組)の元気な方々からの活発な活動報告は会場を大いに盛り上げ、続く方々の明るい発表へと繋がりました。総会・集いは2時間に迫るものとなりましたが、誰もが時間を感じず、参加者全員、次の定例総会を元気で再

会することを約すと共に、年間行事としてカラオケ・ゴルフ・散歩会・囲碁などの交流活動をこれまで以上に推進していくことを約しました。

首都圏支部は益々明るく元気に活動してまいります。



利根沼田支部

支部長 村沢 博行
(昭和47年度卒)



利根沼田支部は四十数年前、私の2学年先輩方(宮田、秋永、諏訪部(敬称略))が中心となり、地元前商卒業生に呼びかけ、同窓生の連帯と親睦を目的に支部を発足。以後、先輩・後輩を問わず

思い出話や近況報告などをする中で親睦と交流を深めて参りました。今後も微力ではありますが、地域の同窓生のより所として活動して参りたいと思います。



渋川支部

支部長 戸塚 富雄
(昭和42年度卒)



平成25年に渋川支部は設立されました。

毎年6月の第3土曜日に総会を開催し、50名程の参加を頂いております。年2回の役員会議を行い、新年会も毎年行っております。令和元

年6月の総会を最後に、新型コロナウイルス感染症の影響により、やむなく、今年度も総会は中止となりました。今後とも感染症対策を行い、支部運営を行ってまいります。



前商同窓会本部旗の寄贈に寄せて

同窓会長 糸井 義一



私は同窓会長に就任した際に取り組みたい事項をいくつか掲げました。

その内容は、同窓会活動の充実強化、同窓会規則の検討、同窓会本部旗および支部旗(首都圏支部、利根沼田支部、渋川支部)の制作、前商同窓会報の創刊、同窓会ホームページの充実等であります。同窓会役員との連携強化を図り順次取り組んでおります。その第一弾としての取り組みが同窓会本部旗の制作で、同窓会員であります前橋大気堂の降旗栄二会長に大変お世話になり、このたび制作できました。

制作については、日頃同窓会活動への感謝の気持ちを込め、同窓会本部旗及び支部旗を私から寄贈させていただきました。

今後も前橋商業高校同窓会のシンボル旗として末永く活用していただけたら幸いです。

運動部OB会紹介 (日本一を目指し後輩を激励)

(部名の五十音順)

剣道部OB会

会長 梅山 晋太郎 (昭和55年度卒)



戦前から剣道部のOB組織として設立され、会員も約632名を数え現在に至っている。OB会の活動は、現役生徒に対する激励・支援・指導、関東大会以上の大会出場時の激励、元旦稽古・豎山杯・OB杯・真道杯の開催、卒業生への記念品贈呈、OBの昇段祝・国体等全国規模大会出場時の激励等で、今後も前商剣道部の発展のため支援を継続していく。

硬式野球部OB会

会長 西川 定男 (昭和44年度卒)



新しいグラウンドに移って早くも4年が経ちました。監督を始めとする指導者、そして60名近い選手全員が今年こそ甲子園と毎日厳しい練習に明け暮れております。

最近ではチームとして力を出し切れず、不本意な敗戦が続く悔しい思いをし続けております。しかし、今年も強豪私学にも対等に戦える選手がそろっております。今年こそ厳しい冬の練習の成果を結実し頂点に立ち12年ぶりの甲子園出場を勝ちとって頂くために我々OB会も物心両面の援護を惜しまないつもりでおります。

サッカー部OB会

会長 矢嶋 敏文 (昭和47年度卒)



サッカー部は、今年で創部56年目を迎えます。OB会も今春の卒業生27名を迎え、会員数1000名を超えるOB会となります。

55年の歴史の中で、多くのOBがJリーガーや指導者となり、子供から大人まで幅広い年代で指導に携わり、県内外でサッカーの普及に貢献しています。

現在、グラウンドの人工芝張替え工事が行われており、間もなく完成を迎えます。選手達には、新しい環境の中で思う存分サッカーに打ち込んでほしいと願っています。

柔道部OB会

会長 松本 邦夫 (昭和42年度卒)



会長・副会長若干名(警察・刑務官・接骨・教員・柔道役員から構成)、書記4名、会計3名、監査2名、顧問は歴代会長及び監督。事務局は、役員を含め10人で運営しています。

主な行事は、総会年1回(2月)、事務局会議年2回(6月・12月)、紫紺杯柔道大会9月(中学生の学校対抗)、井出杯ゴルフ大会などを開催しています。

水球部OB会

会長 岡田 正浩 (昭和58年度卒)



水球部OB会は、今年で55周年を迎えました。会員数は250名を超えています。

OBが積み上げてきた実績は、インターハイ優勝10回(最多優勝回数)、国体優勝5回、オリンピック・世界選手権においても日本代表で活躍しております。

OB会は全国の舞台で活躍する学生たちの活動資金の援助・技術指導を含め、水球部のサポーターとして活動しております。

ソフトテニス部OB会

顧問 浅見 光生 (昭和42年度卒)



ソフトテニス部OB会は、第1回卒業生の深町莊三さんより、何百名の部員を輩出し、今日迄脈々と伝統を受け継いでいます。

令和4年度第77回とちぎ国体が開催され、当部からインターハイで活躍した小暮・佐々木(3年生)ペアが出場し、少年男子の部で7位入賞。OBでは高城くん(日体大3年生)が成年男子の部で準優勝し、成年女子準優勝と合わせて競技別男女総合成績第1位(天皇杯1位)と、群馬県の総合成績向上に貢献しました。

現在の部員も篠原先生のもと、全国優勝に向け日々練習に励んでいます。

男子バレーボール部OB会

会長 鈴木 康之 (昭和54年度卒)



創部69年目を迎え、OB会は約600名の会員となります。

現役の支援を一番に考え、総会、事務局会議を開きOB会の活動を行っております。

令和4年度本県開催の関東大会では、強豪の集まる中ベスト8という功績を残し、全国大会にも出場しました。

現役生徒が、伝統を受け継ぎ「常勝軍団前商」として力を十分に発揮し、思う存分バレーボールを楽しめるよう、OB会もバックアップ、サポートを全力で行っていききたいと思います。

ハンドボール部OB会

会長 高梨 春雄 (昭和50年度卒)



OB会は現役の活動支援やOBの方々の親睦を目的として、昭和54年(1979)にOB会が発足し、43年が経過しました。

現在でも現役への激励金の贈呈や部活指導、役員会や総会に加え、ゴルフ大会やマージャン大会などの世代間を越えた会員同士の親睦を行っています。とは言うものの昨今のコロナ禍でここ3年間は思うような活動ができず、コミュニケーション不足は否めませんが、引き続き活性化できるよう取り組んでいきたいと思っております。

編集後記

～「お久しぶり」～と言っても、はるか半世紀の時を経て再刊となった「前商同窓会報」のお届けとなりました。発行にあたり編集委員は未経験者ばかりで、つたない部分もありますが、力を合わせて作り上げました。

また、取材活動で「前商魂」も感じ、胸が熱くなる思いが久しぶりに蘇りました。ご協力いただいた皆様には心より感謝申し上げます。

最後に大所高所よりご高配を賜った糸井義一会長、バランス感覚に優れた高梨春雄副会長、和を大切にしながら鋭い意見の小屋知弘監事、お忙しい中東奔西走頂いた齋田伊佐巳先生、そして副会長のわたくし、富田等を含めた5人のメンバーでした。

会員の皆様、最後まで読んで頂きありがとうございました。

(記 編集責任者: 富田等)